

～手話を用いた「手歌」と歌声で表現するインクルーシブな合唱団～

ホワイトハンドコーラスNIPPON 知事表敬訪問

約30名の子どもたちがウィーンでの活動を報告 パフォーマンスも披露！

4月4日（木）15:15～ @都庁第一本庁舎7階ホール

聴覚や視覚等に障害のある子どもたちを始め、誰もが参加できる合唱団として活動を続けているホワイトハンドコーラスNIPPON。この度、障害者のバリアゼロを追求し活動するゼロ・プロジェクト（本部：ウィーン）の国際賞を受賞し、今年2月には、ウィーンの国連施設で行われた国際会議で、ベートーヴェン作曲の交響曲第9番第4楽章『歓喜の歌』の合唱を、またオーストリア国会議事堂ではオリジナル曲の合唱を披露しました。

今回は、小池知事にウィーンでの活動を報告するとともに、子どもたちがパフォーマンスを披露します。ぜひ御取材いただきますようお願い申し上げます。

1 実施概要

【日 時】 令和6年4月4日（木）15時15分から15時30分まで

【場 所】 東京都庁第一本庁舎7階ホール（新宿区西新宿二丁目8番1号）

【訪問者】 **コロネりか 氏**一般社団法人 El Sistema Connect 代表理事
ホワイトハンドコーラスNIPPON 芸術監督**田頭 真理子 氏**

写真家。「手歌」を光の軌跡として写真におさめる創作の発案者

ホワイトハンドコーラスNIPPONの子どもたち 約30名

ほか



2 取材申請方法

(1) 取材申請方法

取材を御希望の方は、**4月3日(水) 17時まで**に以下までお申し込みください。

【申込先のメールアドレス】

生活文化スポーツ局文化振興部文化事業課

S1121602@section.metro.tokyo.jp

※右のQRコードから申込メールが作成できます。



【記載事項】

メール件名は「【取材申込】4/4ホワイトハンドコーラスNIPPON知事表敬訪問」とし、貴社名、貴媒体(番組)名、御担当者名、当日の御連絡先、取材人数(ムービー〇台〇名、スチール〇台〇名、ペン〇名、計〇名)、掲載・放送の予定を御記載ください。

(2) 取材に関する諸注意

- 取材受付は、**14時40分から15時10分まで、都庁第一本庁舎7階ホール入口付近**にて行います。
- エレベーターは北側を御利用ください。
- 都庁外から来場される場合は、以下「都庁舎への入庁方法について」を御確認いただき、庁舎1階又は2階にて受付手続を済ませてからセキュリティゲートを通過してください。
 - 「都庁舎への入庁方法について」
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/visitor.html>
 - 都庁舎来庁者受付
<https://visitorsignin.metro.tokyo.lg.jp/>
- 取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。
- 取材の位置などについては、係員の指示に従ってください。
- カメラ位置は受付順となります。電源、音声ラインはありません。
- 当日は都政記録のカメラが入ります。
- 知事へのぶら下がり取材はありません。
- 当日は、職員の指示に従ってください。指示に従っていただけない場合、取材をお断りする場合がございます。
- 取材受付で身分を証明できるもの(社員証等)をお一人ずつご提示ください。

【問合せ先】

生活文化スポーツ局文化振興部文化事業課

森口・岩村 電話：03-5000-5665

ホワイトハンドコーラスNIPPON について

ホワイトハンドコーラスNIPPONは、聞こえない子も、見えない子も、その友達も、多様な子どもたちが互いの力を合わせて活動するユニークな合唱団です。「私だからできること」「僕だから感じることを大切に、手の表現で歌う（手歌）サイン隊と、合唱で歌う声隊から成ります。

ホワイトハンドコーラスNIPPONは、ベネズエラのエルシステマ本部とも連携しながら、東京、京都、2022年からは沖縄において活動を行っています。東京における活動は、東京都、（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場及び一般社団法人 El Sistema Connect の共催事業として実施しています。

これまで、東京芸術劇場におけるバッハ・コレギウム・ジャパンの第九出演、写真展「第九のきせき」（SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞芸術賞受賞）等幅広い活躍を通して「舞台から未来を創る」インクルーシブな合唱団として成長しています。



「第九のきせき」

ベートーヴェンの「第九」を、合唱と共に手話で歌うライブパフォーマンスと、音楽を可視化する写真によって生み出された体験型インクルーシブアート。芸術監督のコロンえりか氏とろう者のメンバーは、手話で対話を重ねながら「第九」の歌詞を「手」で歌う「手歌」に訳し、写真家の田頭真理子氏は、「手歌」を光の軌跡として写真におさめる斬新なアイデアを発案しました。

その取組が評価され、ゼロ・プロジェクトの国際賞を受賞し、今年2月にウィーンで開催された国際会議で「第九」の公演を、同時にWestlicht photo museumで体験型写真展を実施しました。



▶ 詳細は、（一社）El Sistema Connect 公式ホームページをご覧ください。

【HP】 <https://elsistemaconnect.or.jp/index.html>